

今週（1月27日から1月31日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、政策金利の引き上げに伴い、前週対比でレート水準が上昇した。
O/N物は、引き続き付利金利との裁定を目的とした邦銀業態からの調達为中心となるなか、レート水準はこれまでと比べ概ね0.25%上昇し、0.475～0.477%での出会いとなった。
O/N物の加重平均レートは、27日(月)が0.476%、28日(火)～30日(木)までは0.477%、31日(金)は、週末3日積みの取引となったが、出会い水準は概ね横ばい圏で推移した。

日銀当座預金残高は、27日(月)に国債補完供給オペの応札額増加に伴い、521兆円程度まで減少した。その後は同オペへの応札額の減少や30日(木)に気候変動オペの残高増加を受け、当座預金残高も増加傾向となった結果、31日(金)には528兆円台での着地見込みとなった。

●レボ市場

今週のGC O/N物は0.03～0.485%近辺で推移した。
SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンと6Mゾーンが堅調に推移した。
31日(金)に実施された3M物入札は、しっかりとした結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末発行週にあたり、機械、電気・ガス、不動産業など複数の業態で大型発行が行われた。
市場発行残高は、25兆円台で推移した。
発行レートは、利上げにより0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

28日(火)に行われたCP等買入オペは、事前予定通り2,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.540%、平均落札レート0.580%、前回比（按分+0.083%、平均+0.046%）で按分、平均ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
1/27（月）	39,565.80	1.215	155.55	0.476	0.240	5,206,800
1/28（火）	39,016.87	1.190	155.07	0.477	0.073	5,222,800
1/29（水）	39,414.78	1.190	155.62	0.477	0.348	5,246,400
1/30（水）	39,513.97	1.210	154.75	0.477	0.147	5,271,100
1/31（金）	39,572.49	1.240	154.33	0.477	0.404	5,284,500

来週（2月3日から2月7日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/3（月）	決定会合における主な意見(1月23・24日分 8:50)				1月のISM製造業景況指数 12月の米建設支出 1月のユーロ圏消費者物価指数速報値
2/4（火）	1月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 26,000億円 2/5発行	交付税借入 12,500億円 2/14借入		12月の米製造業新規受注・出荷・在庫
2/5（水）	2月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 12月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)				1月のISM非製造業景況指数 12月の米貿易収支
2/6（木）	田村審議委員 長野県金融経済懇談会における挨拶	TB6M 35,000億円 2/10発行	30Y 9,000億円 2/7発行	I補償借入 4,423億円 2/20借入	英中銀MPC
2/7（金）	1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 12月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 45,000億円 2/10発行			1月の米雇用統計 12月の米卸売売上高 2月のミシガン大消費者信頼感指数速報 12月の米消費者信用残高

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/3（月） 日銀予想	1,000	▲ 17,500	▲ 16,500	国債補完	5,100		5,100	▲ 11,400	TB3M発行▲45,000 償還43,000 2Y発行▲26,000 償還21,600
2/4（火） 弊社予想	500	▲ 65,000	▲ 64,500				0	▲ 64,500	交付税借入▲12,500 期日12,500 法人税・消費税揚げ 年金・労働保険料揚げ 社会保障費払い
2/5（水） 弊社予想	500	▲ 26,000	▲ 25,500	共通担保	▲8,000		0	▲ 25,500	10Y発行▲26,000
2/6（木） 弊社予想	500	▲ 2,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
2/7（金） 弊社予想	1,000	▲ 9,000	▲ 8,000				0	▲ 8,000	30Y発行▲9,000 交付税借入▲12,500 期日12,500
週 間 合 計	3,500	▲ 119,500	▲ 116,000	—	5,100	0	5,100	▲ 110,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが底堅く、レートは横這い圏での推移が予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.10～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、6日(木)に6M物、7日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、月初発行週に当たり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では3日(月)に決定会合における主な意見(1月23・24日分)、5日(水)に12月の毎月勤労統計調査速報、海外では、3日(月)に1月のISM製造業景況指数、1月のユーロ圏消費者物価指数速報値、5日(水)に1月のISM非製造業景況指数、6日(木)に英中銀MPC、7日(金)に1月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。